

2020年10, 11, 12月の電波光学同時流星観測報告

(平塚市博物館天体観察会流星分科会 永井和男)

平塚市博物館のTV観測ネットワークと東京都東村山市の神作哲夫さんの観測を用いて、流星電波エコーと光学(TV)観測の同時流星を調査しました。その結果、同時流星は46個でした。観測の目的を4つに絞って下記の結果を得た。

1) 電波エコーの適度な高度範囲はどの位なのか?→現状では電波エコーの適度な高度範囲は見当たらない。2) 対地速度が遅い方が強い電波になるのか観測的に確認する→はっきりしませんが速度が遅いとエコー強度が強くなるようです。3) 本当に継続時間0.6秒以下の方が電波光学の同時流星が多いのか?→発光継続時間の短い流星が多いので同時流星も多い。4) なぜ、電波と光学の同時流星は少ないのか→今回の観測からは理由は分からなかった。以上の結果から今後も継続観測を行う事となりました。